



10月号

令和8年9月30日

与野西北小だより

開校60周年
キャラクター
ろくまる

学校経営方針 【みんなでつくる みんなの与野西北小学校】

児童会スローガン【 せ・い・ほ・く だ・い・す・き 】

【学校教育目標】 ◇みんなと協力する子（徳育） ◇自分の力で考える子（知育）
◇心身ともに健康な子（体育） ◇人との関わりを大切にする子（響育）

与野西北小学校 Tel.853-0109 ホームページ <http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/>

じゃんけん名人になろう

校長 緒方 健二

秋の日はつるべ落しと言われますが、日が暮れるのも日ごとに早くなり、季節の変化を感じられるようになってきました。今年度も後半戦を迎え、学校では様々な行事が予定されており、活気に満ちています。

先日、給食の時間に、教室から賑やかな歓声が聞こえてきました。覗いてみると、余ったデザートのおかわりじゃんけん>の真っ最中です。勝って大喜びをする子、負けて「あ～あ」と悔しがっている子、どの子も目を輝かせて大いに盛り上がっていました。

別の日になりますが、私は登校してきた1年生からじゃんけんを挑まれ、見事に負けてしまいました。負けて少し悔しかったですが、1年生の勝利の笑顔を見ると、私も温かい気持ちになりました。その微笑ましい光景を見ながら、私は子どもたちがじゃんけんを通じて「社会を生きるための素晴らしい力を身に付けている」と深く感心しました。

じゃんけんは日本だけでなく「ロック・ペーパー・シザーズ(石・紙・ハサミ)」という名前などで世界中で使われている共通のコミュニケーションです。年齢や体格、国籍、そして「校長と1年生」という立場を超えて、誰もが対等に、一瞬で平和的に物事を決められる世界最高のシステムともいえます。毎日のように使われているじゃんけんですが、そこには子どもの成長を支える「3つの力」が詰まっています。

ルールを守る力

グー・チョキ・パーの決まりを、全員が共通のルールとして厳格に守っています。

結果を受け入れる力

負けて悔しくても、判定に文句を言ったり、ずるをしたりせず、その結果をすんなりと受け入れています。

気持ちを切り替える力

勝っても負けても、すぐに気持ちを前に向けることができます。

これらはすべて、多様な人々が共に生きていく社会において、不可欠な「協調性」や「自己統制力」そのものです。学校生活の中では、係活動や遊びの順番など、子どもたちの意見や希望がぶつかる場面が多々あります。話し合いだけでは解決に時間がかかる、難しい場面もあります。そんなときの最終手段として、じゃんけんは大活躍します。

<ルールを守り、結果を潔く受け入れ、笑顔で前に進む>これができる子どもこそ、本当の「じゃんけん名人」であり、未来の社会を豊かに生きる力をもった人となります。

子どもたちが日常のじゃんけんの中で育んでいるこの素敵な力を、学校生活のあらゆる場面、そして普段の生活にも生かしていけるよう、教職員一同、温かく見守り、促してまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましても、子どもたちの小さな「自立の姿」にぜひ目を向け、励ましていただければ幸いです。